



日々の積み重ねを大切に

校長 西田和弘

3月を迎え学校の教育活動はこれまでの一年間のまとめの時期を迎えています。子どもたちも学習のまとめを行い次年度に向けての準備が着々と進んでいるところです。3年生は中学校生活でもっとも大きなまとめである公立高校入試が目前となり緊張とプレッシャーが最高潮になっていると思います。

高校入試はこれまでの三年間で成長した自分自身を確かめる機会ととらえることができると思います。これまでの日々の積み重ねで培った自分自身の成長を背伸びをせず表現してきてほしいものです。緊張やプレッシャーを楽しさに変えて挑戦できる力は、すでにみなさんには付いています。自分を信じ存分に力を発揮してください。

さて、彩和学園は次年度で3年目を迎えます。そして、令和6年度からは学校運営協議会制度を活用した「コミュニティースクール」として教育活動を行うこととなります。コミュニティースクールは富田林市内の小中学校では初めての制度となり、彩和学園はそのロードマップ作りのための軌跡を残していかなければなりません。

「コミュニティースクールって何だろう???'と思われる方も多いと思いますが、簡単に申しますと、校長と地域・保護者の方が互いに熟議しながら学校運営を行っていく学校のことです。具体的には、これまで以上に地域や保護者の方により多く学校に来ていただき、子どもたちとの交流や、学校支援活動として学校行事を手伝ってもらうなど、直接的または間接的に学校教育に関わっていただくというものです。

さらに、このような学校支援活動を通して「社会に開かれた教育課程の実現」と「社会総がかりの子ども育成」をめざしていくものです。

彩和学園はその名の通り、様々な方が集まり交流、ふれあうことで教育コミュニティと地域コミュニティの核となる学園になることをめざしていきたいと考えています。



“**You can!** 終始一貫 **MEIJIKE**” を合言葉に!

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～